

令和4年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人北九州市芸術文化振興財団	
施 設 名	北九州市立響ホール	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	24,165	(千円)
	公 演 事 業	19,011 (千円)
	人 材 養 成 事 業	0 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	5,154 (千円)

(1) 令和4年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	響ホールプロデュース音楽会	中止※	出演者1名が本公演前日に新型コロナウイルス陽性となったため中止※	目標値	420
		中止※		実績値	0
2	響ホールリサイタルシリーズ(5公演)	6月、7月、11月、 1月、3月	令和3年度のショパンコンクール入賞者など注目度の高い旬のアーティストによるコンサート。	目標値	2,042
		北九州市立響ホール		実績値	2,413
3	0才からの親子で楽しむクラシックコンサート	2月18日	0歳から入場可能なクラシックコンサート。出演者：中川賢一、鶴木絵里、Quatuor B	目標値	530
		北九州市立響ホール		実績値	598
4	加古隆クアルテットコンサート	5月29日	加古隆クアルテット結成10周年記念コンサート。出演者：加古隆、相川麻里子、南かおり、植木昭雄	目標値	420
		北九州市立響ホール		実績値	594
5	2022 北九州国際音楽祭 マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ 関連企画	8月14日、 11月12日、23日	音楽祭オリジナルオーケストラによるコンサート等3公演を実施。出演：篠崎史紀、双紙正哉、田中香織、長哲也、谷昂登 他	目標値	1,333
		北九州市立響ホール		実績値	1,363
6	2022 北九州国際音楽祭 プロデュース企画	10月15日、11月2日	プラネタリウムと市内文化財にて2公演を実施。出演：外園祥一郎、次田心平、松本望、岡田 奏	目標値	315
		スペースLABO、西日本工業倶楽部		実績値	262
7	2022 北九州国際音楽祭 海外オーケストラ招聘企画	10月9日	市内で唯一の海外オーケストラ公演。出演：サー・サイモン・ラトル指揮、ロンドン交響楽団、チョ・ソンジン	目標値	1,702
		北九州ソレイユホール		実績値	1,184
8	2022 北九州国際音楽祭 庄司紗矢香(ヴァイオリン) ジャンルカ・カシオーリ(フォルテピアノ) デュオ・リサイタル	12月3日	トップクラスの奏者によるフォルテピアノとガット弦による演奏会。出演：庄司紗矢香、ジャンルカ・カシオーリ	目標値	658
		北九州市立響ホール		実績値	550

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和4年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	響ホールワンコインコンサート (4公演)	5月、8月、12月、 2月	聴きなじみのある曲を中心とした親しみやすい45分間のプログラムを、500円で鑑賞できるコンサート。	目標値	1,200人 (300人×4回)
		北九州市立響ホール		実績値	1,725
2	地域訪問コンサート～アーティスト・イン・レジデンス～	6月、8月、9月、 12月、2月	市民センターや市内小中学校で行う訪問コンサート。出演者は公演事業1、普及啓発事業2より選出。	目標値	参加者数：800
		児童養護施設、小中学校、市民センター		実績値	627
3	ひびきつながるプロジェクト	10月2日、2月12日	市内の施設や大学生等との共同事業。出演：響ホール室内合奏団、門司少年少女合唱団、他	目標値	参加者数：600
		門司赤煉瓦プレイス 北九州市立響ホール		実績値	417
4	2022北九州国際音楽祭教育プログラム	11月9日	小学校、幼稚園でのアウトリーチ。出演者：篠崎史紀、矢部咲紀子、三国レイチェル由依、佐山裕樹	目標値	400
		北九州市立小学校 北九州市内幼稚園		実績値	274
5	2022北九州国際音楽祭特別プログラム	7月10日、8月11日、 13日、10月9日	普及啓発・振興・教育や音楽祭のPRを兼ねた事業。出演者：広瀬大介、篠崎史紀、倉富亮太、佐々木亮	目標値	700
		北九州市立響ホール、 西日本工業大学、 北九州ソレイユホール		実績値	614

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<p>響ホールのミッションは、「社会の一員として「人」に向き合い「人」とともに新しい芸術文化やまちづくりの価値の「創造」と「発信」をしていくこと」である。事業運営は、①開かれた音楽堂、②出会いの音楽堂、③地域と向き合う音楽堂、④安全・安心な音楽堂を運営理念としている。地域特性としては、首都圏と比較してトップシーンで活躍するアーティストの公演回数が少ない事や、政令指定都市で最も高齢化率が高いこと、「東アジア文化都市 20▶21」の開催など、文化芸術の力を観光や産業に活かした創造的なまちづくりを推進していることが挙げられる。</p>
<p>■公演事業</p> <p>国内外のトップアーティストの公演やオリジナル作品の創作など、質・発信力の高い事業を実施した。令和3年度は渡航制限のため中止となった「海外オーケストラ公演」も令和4年度は開催することができ、地域の音楽文化の牽引につながった。</p>
<p>■普及啓発事業</p> <p>社会的役割や公共施設・非営利団体が求められる公益性、あるいは福祉・教育・地域活性化等への貢献に基づき事業を組み立てた。クラシック音楽の裾野拡大と、地元アーティスト活用を目指した「ワンコインコンサート」、幼稚園、小・中学校、特別支援学校、児童養護施設などへのアウトリーチやインリーチ、他施設や大学との連携事業など、感染対策を講じながら、計画通り全事業実施することができた。</p>
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<p>当館は、北九州市の文化芸術の振興を図る中核拠点施設として「音楽を主とした公演、音楽を担う人材の育成を行うとともに、市民自らが音楽などの活動をする場を提供することにより、優れた芸術文化を市民が享受する機会の拡大及び新たな芸術文化の創造に資する」ことを目的として設置された。</p>
<p>■文化的意義「文化創造の拠点」</p> <p>オリジナルオーケストラ公演、地元アーティストとのオリジナルコンサートを創造、アウトリーチ事業などによる次世代を担う人材の育成などを行った。</p>
<p>■社会的意義「地域文化の拠点」</p> <p>地域の人材を活かすため、地元アーティスト出演の公演、市立図書館や市内大学生との音楽を通じた連携事業を継続的に実施している。</p> <p>社会包摂に寄与するため、市民センターや児童養護施設、幼稚園、小・中学校、特別支援学校でアウトリーチ事業を実施し、多様な層の鑑賞機会の創出と鑑賞支援を行った。</p>
<p>■経済的意義「にぎわいの拠点」</p> <p>市内外の音楽・芸術を楽しむ人がコンサートやイベントに集える事業を展開。来場者総数は9,720名であり、公共交通機関や周辺飲食店、宿泊施設などに経済的な貢献をしたと考えている。</p> <p>（公演事業来場者アンケート：北九州市外から来場した方の割合：26.0%）</p> <p>以上のことから、文化的、社会的、経済的意義を継続して認めることができる。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

■公演事業

目標① 当館オリジナル公演を創造し、北九州ブランドをPR。地域の活性化につなげる

指標 オリジナル公演 10 公演以上、観客満足度 95%以上、新規来場者の割合 25%以上

実績 オリジナル公演 10 公演、観客満足度 98.7%、新規来客者の割合 26.0% (達成)

目標② 国内外で活躍するアーティストを招聘し、芸術性の高い公演を市民が享受できる機会を提供する

指標 観客満足度 95%以上維持、市外の来場者割合 30%以上維持

実績 観客満足度 99.3%、市外の来場者割合 26.0% (一部、未達成)

目標③ 若者が芸術文化に触れる機会を促進する

指標 学生招待応募数 10 人/公演、25 歳以下チケット販売数 50 枚/公演

実績 学生招待応募数 10 枚、25 歳以下チケット販売数 35 枚 (一部、未達成)

目標④ 誰もが安心して来場できる環境づくりを行う (多言語化・ソフト面でのバリアフリー化など)

指標 託児サービス実施 (100%)、スタッフの障がい理解度 90%、スタッフ対応満足度 95%以上、顧客満足度 (公演事業 3) 95%、多言語対応 300 件

実績 託児サービス実施 100%、スタッフの障がい理解度 100%、スタッフ対応満足度 98.2%、顧客満足度 (公演事業 3) 99%、多言語対応 (音楽祭 HP 英語版閲覧件数) 274 件 (一部、未達成)

■普及啓発事業

目標① 地域の一員となれるよう、響ホールをより身近に感じる人の割合をより広く増やす

指標 地域訪問コンサート 15 回以上、地域訪問コンサート満足度 95%維持、地域訪問コンサートでホールに行ってみたくないと回答した割合 90%

実績 地域訪問コンサート 15 回、地域訪問コンサート満足度 100%、地域訪問コンサートでホールに行ってみたくないと回答した割合 84.6% (一部、未達成)

目標② クラシック音楽に興味・関心を持つ観客の育成を図り、音楽文化の振興を図る

指標 地域訪問コンサートで「クラシック音楽」に興味・関心を持ったと回答した割合 85%、ワンコインコンサートで「リサイタル公演に行ってみたくないと回答した割合 85%

実績 地域訪問コンサートで「クラシック音楽」に興味・関心を持ったと回答したの割合 97.4%、ワンコインコンサートで「リサイタル公演に行ってみたくないと回答したの割合 94.1% (達成)

目標③ 誰もが安心して来場できる環境づくりを行う (多言語化・ソフト面でのバリアフリー化など)

指標 託児サービス実施 100%、スタッフの障がい理解度 90%、スタッフ対応満足度 96.5%、多言語対応の継続

実績 託児サービス実施 100%、スタッフの障がい理解度 100%、スタッフ対応満足度 96.5%、音楽祭 HP 英語版閲覧件数 273 回 (達成)

目標④ 来場が難しい方にも音楽文化を届ける

指標 福祉的アウトリーチ数 3 回、訪問先の満足度 100%

実績 福祉的アウトリーチ数 3 回、訪問先の満足度 100% (達成)

目標⑤ 地域との連携・協働事業を通じて、地域の課題と向き合い、ともにまちを創る仲間づくりを行う

指標 連携事業の満足度 100%、継続してホールと連携したいと考える地域団体等の割合 100%

実績 連携事業の満足度 100%、継続してホールと連携したいと考える地域団体等の割合 100% (達成)

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

■公演事業

1 事業が新型コロナウイルスの影響で中止となった。その他の事業では概ね計画通りに実施でき、事業期間も適切であった。

中止事業を含む 8 事業のうち、4 事業で入場者数が目標値を超えた。事業番号 2「響ホールリサイタルシリーズ」は、複数の出演者が世界的コンクールに入賞し注目された影響もあり、入場者数が目標値を約 18%上回った。事業番号 4「加古隆カルテット」は、加古隆による九州公演は約 5 年半ぶりのため、九州全域および山口県に新聞広告を掲載した。これにより入場者数が目標値を約 41%上回ったと考えられる。

■普及啓発事業

全ての事業が計画通りに実施でき、事業期間は適切であった。事業番号 1「ワンコインコンサート」は、リピーターの定着、多彩なラインナップによる新規来場者の増加で目標値よりも入場者数が約 44%上回った。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

■公演事業

1 事業は公演前日に中止となったが、中止までにかかった経費が多く、予算額の多くは執行となった。その他の事業については、広告出稿を複数公演でまとめて行う等の工夫により支出を抑え、概ね当初の計画通りに進めることができた。

お客様の満足度は高く（お客様アンケート結果：98.7%）、入場者数も 8 事業中（うち 1 事業は中止）のうち、入場者数の目標値を 4 事業で達成することができた。収益率も 6 事業は 50%以上であり、事業費は適切であった。

■普及啓発事業

全ての事業において予定通り進んだ。アウトリーチや無料コンサートなどが多いため収益率は低いが、公共ホールとしての音楽文化の推進に取り組めた。事業費は、アウトリーチの出演者に公演事業の出演者を起用し、実施日を公演の前日又は翌日としたことで、宿泊費と旅費を抑えることができた。執行額は概ね計画通りとなり、事業費は適切であった。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

響ホールは1993年に開館した席数720席のシューボックス型ホールで、残響時間約1.8秒（満席時）と日本屈指の音響を誇る。

北九州市内唯一の音楽専用ホールで、クラシック音楽、特に室内楽に適したホールとして、開館当初から多くの公演を重ね、北九州国際音楽祭の主会場としても使用されている。

公演事業では、0歳から入場できるクラシックコンサート、本公演前後に学校訪問コンサートやプレトーク、アフタートークをセットにした事業や、北九州国際音楽祭のオリジナルオーケストラ「マイスター×アールト×ライジングスターオーケストラ」や「チェロ8」、オープンしたばかりの市立科学館で実施した「プラネタリウムコンサート」など、独自の企画を実施した。

また国内外のトップアーティスト公演など、地域で唯一の音楽ホールの特性を生かした上質な公演事業を数多く実施した。北九州市だけでなく、市外、県外への文化発信につながっている。

普及啓発事業では、「ワンコインコンサート」や「まるっとEnjoy! 響ホールで夏休み（国際音楽祭 特別プログラム）」など、地域住民が気軽に鑑賞できる機会を提供した。地元企業や近隣大学との長期的な連携事業にも取り組み、地域とともにあることを強く意識した事業展開を行った。

また、地域で次世代を担う若い人材を育成するとともに、北九州市内で芸術文化振興の土壌をつくり、音楽文化を普及するため、幼稚園・小・中学校や特別支援学校、児童養護施設へのアウトリーチなどを行った。

北九州国際音楽祭 特別プログラムでは、「楽しみ方聴きどころ講座」や「オーケストラレクチャー」で専門家が公演について解説を行う事業を実施。より深い鑑賞の一助とするとともに、公演を楽しむきっかけとなるよう聴衆の育成を行った。

このように、創意工夫を凝らして柔軟に対応し、各事業を通じて地域の文化拠点としての機能を大きく発揮した。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

当館は、地域の若手演奏家の育成及び登用、並びに地方においても多様な音楽公演を享受できる機会の創出を通じて、地域の文化芸術の発展を図っている。

北九州国際音楽祭「ヴァイオリンが上手くなるひみつ」では、本市出身のNHK交響楽団第1コンサートマスターの篠崎史紀氏が先生役となり、公募(抽選)した6名(5歳以上未経験者除く)を生徒役として、レッスンを公開する事業を行っている。見学者は、地域の楽器愛好者、指導者、ヴァイオリンを習っている子どもを持つ親と兄弟が主である。篠崎氏はヨーロッパで学んでいることから、ヨーロッパの伝統に則った内容が提供でき、レッスン方式で公開することで、クラシック音楽の核心を分かりやすく伝えることができた。

当館では、本市出身のアーティストが郷土へ戻り、自ら会得したクラシック音楽にまつわる国際的な知識を地域へ伝達し、次世代を創ってゆくという循環が図られている。

「マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラ」に出演した篠崎史紀氏、双紙正哉氏、田中香織氏をはじめ、「プレ・コンサート」には北九州市出身のピアニスト谷昂登氏が出演した。

マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラでの本市出身者の活躍や、日本音楽コンクール第1位を受賞した谷氏など若手演奏家の成長は、地域の実演芸術の振興の成果の一つであると考えている。

今後も、地域の若手演奏家を育てる試みを積極的に行い、若手からベテランまで幅広い層の演奏家に活躍の場を提供することで、地域の実演芸術の振興につなげたい。

さらに、当館は、地方においても多様な音楽公演を享受できる機会を提供するため、来場者アンケートなどによる地域のニーズを踏まえた事業を計画している。

ロンドン交響楽団の招聘や、庄司紗矢香氏、小林愛実氏、反田恭平氏、務川慧悟氏、阪田知樹氏など国際的に活躍する邦人アーティストによる公演を実施し貴重な鑑賞機会を創出した。

また、未就学児も入場可能なコンサートを求める意見に応えた「0才からの親子で楽しむクラシックコンサート」や、クラシック音楽はハードルが高いなどの声に応えた「ワンコインコンサート」も実施した。これらの公演は、将来的な観客の育成や音楽文化の振興につながるものと考えている。

その他にも、「加古隆クアルテット」などクラシック音楽にとらわれない多彩な事業展開を行い、地方においても多様な音楽公演を享受できる機会を提供した。

今後もこれらの取り組みを更に発展させ、地域の実演芸術の振興や文化芸術の発展に寄与していく。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

令和4年度の事業は、下記のようにPDCAサイクルを回して実施した。

■Plan

公演事業では、市内の公演状況や前年度以前の公演を踏まえ、多様な音楽ジャンルをラインナップした。また、ニーズの高い多い乳幼児入場可の公演や市内唯一の海外オーケストラ公演は前年度以前から継続して実施している。若手育成を兼ねた音楽祭オリジナルオーケストラは、人材養成の観点から毎年実施している。

普及啓発事業では、福祉的・教育的にも貢献するため、福祉施設や学校等でアウトリーチ事業を立案した。

■Do

新型コロナウイルスによる中止や出演者の変更等があったが、コロナ禍でも実施が可能になるようにプログラム内容、入場制限などを工夫、変更し、概ね当初の予定どおりに遂行した。

■Check

概ね計画通りに事業が実施でき、公演事業では8事業（うち1事業中止）のうち4事業で入場者数が目標値を超えた。収益率は6事業で50%以上となった。

観客アンケートでは、全ての公演において満足度97%以上であった。(2022北九州国際音楽祭アンケート回収率31%、響ホールリサイタルシリーズアンケート回収率45%)。「圧巻の演奏でした」「素晴しかったです。また響ホールに来て嬉しいです。」「響ホールの音響が素晴らしかった」「心やすまる時間となりました。コンサートは心を豊かにするものです。ありがとうございました。」「一流の演奏を聞けて豊かな気分になりました。」等の意見が寄せられた。

■Action

次期の企画についても響ホールのミッションに基づき、文化芸術を推進する「音楽の拠点」として求められている事業を検討し実践していく。お客様アンケートの意見や、入場率などで、来場者のニーズを把握しつつ、質の高い音楽文化を創造し発信できる事業を企画する。

以上のように、PDCAサイクルを意識することで、事業運営を改善している。